

グローバル活動

OKIは、今後の成長と発展には海外ビジネスの強化が不可欠と考え、中期経営計画2025においてグローバル活動に注力してきました。事業・技術・生産・人財を中心に今後も推進していきます。

事業 グローバルサウス地域における共創ファンドと共創エコシステムの強化

インドや東南アジアなどのグローバルサウス地域では、継続的に大きな経済成長が見込まれる一方で、その成長スピードに必要なインフラ整備が追いついていない地域が多くあります。このインフラ整備の遅れに起因し、さまざまな社会インフラ課題が顕在化しています。インドを中核とした共創ファンドとの活動やシリコンバレーの技術探索拠点、ベルリンのR&D拠点を活用し、現地スタートアップ企業との連携により、課題を解決する新事業モデルの仮説を立て、検証しています。テクノロジーとビジネスの両輪によって、各地域のお客様の声に寄り添い、AI・IoTをはじめとした最先端技術と現地固有のノウハウを融合し、ニーズに合った新規事業の創出にチャレンジしています。



インド拠点での共創活動

技術 グローバルオープンイノベーション

先端技術を積極的に取り入れ、事業創出の拡大と社会課題解決への貢献を目指し、海外拠点におけるオープンイノベーション活動を推進しています。

米国シリコンバレーでは、Plug and Play社とのパートナーシップのもと、技術競争力を強化するため、現地拠点を活用した技術探索や多数のスタートアップとの連携を加速させています。また、2025年6月に開設したドイツ・ベルリンの研究開発拠点「OKI Berlin Lab」では、現地パートナーや研究機関と協力し、フォトリソグラフィ技術の強化や先進エッジデバイスの社会実装、さらにはグローバル展開を推進しています。



グローバルオープンイノベーション拠点が入居している建物
(左)米国・シリコンバレー (右)ドイツ・ベルリン

詳細は、以下プレスリリースをご参照ください。
米国Plug and Play社とパートナーシップ契約を締結
ドイツ・ベルリン社に研究開発拠点「OKI Berlin Lab」を設立

人財 OKIはグローバル人財の育成に向けて、現地で挑戦する機会を積極的に提供し、若手からベテランまで社員が成長できる環境づくりに取り組んでいます。具体的な事例については、人財戦略「グローバルチャレンジ」▶P.27をご参照ください。

生産 国内外の競争力強化を支える製造基盤の拡大

国内外における持続的な競争力の確立に向けて、製造基盤のグローバル拠点拡充にも注力しています。

2025年9月には、インドのLipi Data Systems社とのATM現地生産に関するパートナーシップ契約を締結し、インド国内の主要金融機関向けに生産を開始しました。これにより、急成長するインド市場、「Make in India」政策に対応し、現地の製造・調達力とOKIの高品質な生産技術を融合したATMの提供を実現しています。

また、ベトナムにおけるメカトロ商品の製造拠点であるOKI Viet Namの新社屋移転も同月に完了しました。今後は、アジアを中心としたグローバル市場への展開をさらに加速していきます。



(左)インドのATM現地生産に関するパートナーシップ締結時の写真
(右)ベトナムの新社屋完成イメージ

詳細は、以下プレスリリースをご参照ください。
Lipi Data Systems Ltd.と提携し、インド国内ATMの現地生産を開始